

1. 課題名

インスリン自己注射を導入した患者への外来での継続支援の有用性
～情報共有ツールを用いた病棟と外来の連携～

2. 担当科 申請者

看護部 外来 大戸 真里

3. 研究期間

倫理委員会承認日 から 2024年11月 まで

4. 目的

病棟と外来間での情報共有ツールを用いて外来看護師が意図的に介入することが、患者が退院後もインスリン自己注射を確実に継続するために有用であることを明らかにする。

対象：西6階病棟入院中にインスリン自己注射を導入した方、および教育入院前提で入院直前に外来でインスリン自己注射を導入した患者さん

5. 利用又は提供する試料・情報、提供方法

情報：チェックリスト、情報共有シート

6. 研究代表者

看護部 外来 大戸 真里

7. 倫理審査委員会

本研究の実施については令和5年11月16日に当院医学系研究等倫理審査委員会（迅速審査）にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 静岡市立静岡病院 看護部 外来

研究責任者： 大戸 真里

電話番号： 054-253-3125（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相談窓口： 静岡市立静岡病院 臨床試験管理センター

e-mail： chicken2@shizuokahospital.jp